

報道関係者各位

令和 2 年 2 月 20 日

鬼塚電気工事株式会社
代表取締役 尾野 文俊

災害時における携帯電話の充電のための器具等の供給に 関する大分県との協定締結についてのご案内

拝啓 時下、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、弊社では地域への貢献活動として進めている「プロジェクトONICO」の一環で、大分県で災害が発生した場合に、避難所等に支援物資提供すること決め、この度、正式に大分県との協定を締結する運びとなりました。

つきましては、貴メディアでもお取り上げ頂きたく、ご案内申し上げます。

何卒、宜しくお願い致します。

記

1. 日時 令和 2 年 2 月 27 日(木) 15 時 ~ 15 時 30 分
2. 場所 大分県庁本館 4 階 貴賓室
3. 趣旨 大分県で災害が発生した場合、大分県と相互に協力し、県民生活の期安定を図るため、物資の供給確保等に協力する。
4. 物資の範囲 (詳細は添付資料に記載)
 - 1 インバーター発電機
 - 2 バルーン照明付き発電機
 - 3 USBポート
 - 4 コードリール
 - 4 その他大分県が必要と認めるもの

【本件に関するお問合せ先】

鬼塚電気工事株式会社

営業部 中上俊明 (なかがみ・としあき)

寶亀真美 (ほうき・まみ)

〒870-0927 大分市大字津留字六本松1981-6

TEL 097-569-3271

EMAIL nakagami7@onizuka.co.jp

災害時のスマホ充電でつながる安心を

災害発生時には、安否確認の為や避難所・救援物資・救助についての情報を得るために携帯電話の需要が高まります。熊本地震や北海道胆振東部地震の際には、携帯電話の充電を求める人々の長蛇の列が報道されていました。「電気のプロとしてなんとかしたい。」社員たちの想いが、協定の締結に繋がりました。

鬼塚電気工事(株)では、大分県がクリエイティブな手法による新たな産業創出を目指して取り組む『クリエイティブ・プラットフォーム構築事業』をきっかけに、2018年度から地域への貢献が目的の「プロジェクトONICO」（オニコ）を展開してきました。クリエイティブディレクターの清川進也氏監修の元、大分県立芸術文化短期大学との協働で、当初はエンターテインメント性のある携帯電話充電装置を考案していましたが、北海道胆振東部地震を機に災害時の利用を重視した方向性に転向。携帯電話50台の同時充電が可能で、災害時にも発電機で稼働する「無料充電ステーション」2基を開発し、大分市のガレリア竹町広場に展示しました。



ラグビーワールドカップ開催期間中の
無料充電ステーションONICO



ラグビーワールドカップ開催期間中の
無料充電ステーション鬼桜

その後、シンボリックな「無料充電ステーション」とは対照的な、コンパクトに充電機器を詰め込んだ「ONICOBACO」（オニコバコ）を制作。他にも発電機やコードリールを収集し、2000台分の携帯電話が充電できる設備を即時に提供できるよう整備してきました。

今後も随時、提供可能な物資を増やしていく予定です。この取り組みによって、少しでも被災者の皆様の不安やストレスを緩和したい。地域の電気工事やとしての願いです。

●支援物資の一例「ONICOBACO」（オニコバコ） × 6セット

1箱で200台の携帯電話を同時充電可能です。（機種による）



USB10ポート充電器 20台・ACコード5個口 4本

各種 携帯電話充電コード 200本

(ライトニングケーブル用120本・TypeC用60本・microB用15本・FOMA/3G用5本)

